

## 新潟市舞平清掃センター附属休憩所指定管理者事業計画の概要

環境部循環社会推進課

項目	旭ビル管理株式会社(選定者)
①施設の管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式に対応した中で、利用者が安全に安心して利用し、満足度の向上を目標とする。</li> <li>・快適な環境空間を維持し、経費削減に配慮し、利用者に喜ばれる自主事業を実施する。</li> <li>・地元企業の活用、地元雇用など、地域に貢献する。</li> <li>・衛生管理を徹底し、レジオネラ属菌等の予防に努める。</li> </ul>
②申請者の実績及び経営状況	資本金：21,000 千円 当期損益：12,048 千円（令和元年度） 社員数：324 人 主たる業務内容：建築物及び構造物の清掃管理、建築物空気環境測定並びに環境衛生管理、建築物飲料水水質検査並びに貯水槽の清掃、電気空調設備の保守点検、建築物の害虫駆除、保安、警備、受付サービス、電話交換、宿泊施設の管理等 施設管理実績：新潟市舞平清掃センター附属休憩所（平成 20 年度より現在 3 期目）
③社会貢献活動の実績及びワーク・ライフ・バランスを推進する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用の促進に努める。</li> <li>・市廃棄物対策課が主催する「ポイ捨てやめようキャンペーン」に毎年参加し、清掃活動を実施している。</li> <li>・搬出される段ボール、シュレッダーごみはリサイクルとして処理、また利用しているトイレットペーパー、コピー用紙などはリサイクル品を積極的に活用している。</li> <li>・330 名の従業員のうち 7 割が女性、従業員の家庭環境に合わせた勤務体系としており、現場責任者として女性を積極的に登用している。</li> <li>・労働契約法、労働基準法等の関係法令を遵守、従業員と労働契約書を取り交わしている。勤務時間により雇用保険、社会保険に加入、また、年次有給休暇を付与して計画的に取得させている。</li> </ul>
④管理体制及び職員資質の向上	管理責任者 1 名 管理業務員 1 名 清掃・管理業務員 2 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇マニュアルに基づく研修（毎月）</li> <li>・新潟市廃棄物処理施設附属施設条例及び施行規則研修（年 1 回）</li> <li>・公衆浴場法及びレジオネラ症防止対策研修（年 1 回）</li> <li>・災害、事故予防及び緊急時の対応研修（年 2 回）</li> <li>・救急救命教育（年 1 回）</li> <li>・環境エコ教育（年 1 回）</li> <li>・個人情報の取扱い教育（毎月）</li> </ul>
⑤衛生管理の徹底及び施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の徹底を図り、現在までレジオネラ症の発生は皆無である。</li> <li>・令和 2 年 6 月からは、新潟市の「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、人数制限対策（3 密防止）のほか、検温、アルコール手指消毒、マスク着用要請、アルコール拭き上げを実施している。</li> <li>・仕様書で 1 時間毎の浴室巡回のところ、高齢者が多いことから、30 分毎に巡回する。</li> <li>・仕様書で年 1 回実施の貯湯槽清掃は、レジオネラ属菌を予防するため、年 2 回実施する。</li> <li>・開館から 16 年が経過し経年劣化が見られることから、独自に電気工事士・ボイラー技士等の資格者を配置、点検する。</li> <li>・自主点検として、自動ドア点検を年 1 回実施する。</li> <li>・仕様書で 5 年に 1 回実施のガスヒートポンプエアコンの保守点検は、機器異常の早期発見、消耗品交換による性能維持のため、年 1 回実施する。また、フロン排出抑制法により、冷媒ガス漏洩検査（法定点検）を 3 年に 1 回実施する。</li> <li>・樹木・芝生管理の除草作業は、仕様書の回数以上に実施し、安全性と景観を考慮しながら管理する。</li> </ul>
⑥稼働率アップへの取り組みとサービス向上(屋内施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント案内は、ホームページ、施設に掲示するほか、施設の利用者を中心にイベントを案内、地域に密着した施設運営をする。</li> <li>・季節にあった飾り付けを実施する。</li> <li>・パン屋を呼んで来館者に販売する。</li> <li>・保育園児が書いた家族の似顔絵を展示する。</li> <li>・「信濃バレー親水レクリエーション広場」（ショートホール中心のゴルフ体験場）と提携し、ゴルフのプレー後の利用促進を図る。</li> <li>・「交通安全教室」、「ハーブの香り袋製作会」、「AED 操作講習会」を開催する。</li> <li>・遊具（ゴムボール、バランスボール、フライングディスク、バトミントンセット）を無料で貸し出し、遊んでもらう。</li> <li>・季節に応じた変わり湯を実施する。</li> <li>・清涼飲料水用自動販売機を設置、その販売収入及びアイス販売収入の一部を管理運営費に充当する。</li> </ul>
⑦稼働率アップへの取り組みとサービス向上(屋外施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント案内は、ホームページ、施設に掲示するほか、施設の利用者を中心にイベントを案内、地域に密着した施設運営をする。</li> <li>・芝生公園を「こどもの広場」として、柔らかく大きいボール、フライングディスク、バトミントンセット、凧などを無料で貸し出し、遊んでもらう。</li> <li>・花いっぱい緑化活動として、来館者や保育園児に協力頂き、花の種、球根を植え、施設を華やかにする。</li> </ul>
⑧災害、事故等の予防及び緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理者を選任し、緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網を作成する。</li> <li>・年 2 回の消防設備点検のほか、日常点検を実施する。また、年 1 回の消火訓練・避難訓練と年 1 回の総合訓練及び救急救命訓練を実施する。</li> <li>・年 4 回の火気設備、建築物自主点検を実施する。</li> </ul>
⑨要望や苦情に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に常時アンケートポストを設置、また、ホームページで意見を募るとともに勤務員が利用者からの声を聞き取るように教育する。</li> <li>・利用者からの要望、苦情は速やかに運営会議を開催して対応を検討、施設に掲示し、市に報告する。</li> <li>・利用者からのアンケートによる調査を年 2 回実施、自己評価を行い、次年度の管理運営に反映させる。</li> </ul>

⑩各費目の設定内容の妥当性	収支計画（令和3年度）		<参考> 現行の使用料  使用料 大人 100円（中学生以上） 小人 50円（未就学児無料）  多目的ホール使用料 1時間につき500円						
	収入	<table border="1"> <tr><td>附属休憩所使用料</td><td>1,940千円</td></tr> <tr><td>多目的ホール使用料</td><td>17千円</td></tr> <tr><td>収入合計（市歳入）</td><td>1,957千円</td></tr> </table>		附属休憩所使用料	1,940千円	多目的ホール使用料	17千円	収入合計（市歳入）	1,957千円
附属休憩所使用料	1,940千円								
多目的ホール使用料	17千円								
収入合計（市歳入）	1,957千円								
⑪管理経費削減の具体的な取り組み	支出	<table border="1"> <tr><td>運営経費</td><td>12,460千円</td></tr> <tr><td>自主事業充当額</td><td>△10千円</td></tr> <tr><td>支出合計（指定管理料）</td><td>12,450千円</td></tr> </table>	運営経費	12,460千円	自主事業充当額	△10千円	支出合計（指定管理料）	12,450千円	
	運営経費	12,460千円							
自主事業充当額	△10千円								
支出合計（指定管理料）	12,450千円								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室温の測定と来館者の体感状況を確認し、熱中症に注意しながらエアコンの温度調整による節電、節水用シャワーヘッドへの変更による節水で可能な範囲で削減する。</li> <li>・ガスヒートポンプエアコンの保守点検を年1回実施し、機器異常の早期発見、消耗品の交換で性能を維持させ、電気量、ガス量を抑制したい。</li> <li>・人件費、委託料を見直す。</li> <li>・再生紙を使用する。</li> <li>・廃棄物の減量化、処分量の削減をする。</li> </ul>								

<参考>

舞平清掃センター附属休憩所 年度別利用者数

（単位：人）

	開館日数 (a)	大人 1回券	大人 回数券	大人 計	子供 1回券	子供 回数券	子供 計	免除者等	計 (b)	多目的 ホール	合計
平成 27 年度	304	11,425	8,479	19,904	250	0	250	1,432	21,586	287	21,873
平成 28 年度	301	10,712	8,570	19,282	213	0	213	1,301	20,796	394	21,190
平成 29 年度	300	10,121	9,841	19,962	208	7	215	1,246	21,423	221	21,644
平成 30 年度	255	8,383	8,391	16,774	189	15	204	969	17,947	83	18,030
令和元年度	305	10,451	10,176	20,627	170	46	216	1,298	22,141	136	22,277

※平成30年度は工事により2カ月間休館(12月・1月)